

か。それともカラスが食べてしまっ
 たのだろ
 うか。残念だった。頭の中に空のお茶わんだ
 けが思いうかんだ。
 っ あーあ、おにぎりにして食べたかっ
 たな。
 と、ぼくが言うところ、
 昔から、八十八の手間ひまかけて、
 言葉があるくらい米作りはむずかしいんだよ。
 と、母が言った。
 それから数日後、母と一緒に米や野菜など
 農産物の研究をしている農業研究センターへ
 行き米についての話を聞いてきた。一番おど
 ろいたのは、米の種類が多いことだ。ぼくは、
 せいぜい五十種類くらいだろうと思っ
 ていた
 が、三百種類以上あるそうだった。広い田んぼに
 は、コシヒカリやあきたこまちなど聞いたこと
 ののある名前前の稲もあれば、全く聞いたこと
 のないめずらしい名前前の稲も植えてあつた。
 ぼくは、全種類の米を食べてみたいと思つた。
 米作りで一番大変なことは、草取りだ
 そうだ。でも、広い田んぼの草を人間が取る

ことはとても無理なので、農薬を使うのだが、
 農薬の量や、まくタイミングを決めるのがと
 てもむずかしいと教えてもらった。そかい
 えば、祖母も「畑の草取りが大変だ」といつ
 も言っている。先日、家族全員で畑の草取り
 をしたが、暑い中しやがんだ姿勢での草取り
 は、大変だった。だからぼくも、説明してく
 れた人の気持ち少しだけ分かった。農家の
 人は、草や虫やいもち病から稲を守るために、
 毎日観察し、ハ十八の手間ひまをかけて育て
 ていることを初めて知った。ぼくは米作り
 はかん単で、すぐに食べることができると思
 っていたので、反省した。
 その日の夕飯はご飯と魚だった。いつも食
 べているお米と同じなのにとてもおいしく感
 じられ、お代わりをした。ぼくは「野球手
 に入っている。健康でいよう夫な体を作る
 ために、これからもご飯をたくさん食べよう
 と思おう。そして、野球の練習もがんばり、お
 米パワールで、ホームランを打ちたい。